

あれこれ情報版



ゴールデンウィークが明けてやはりコロナ感染者が増えています。5 類感染症になり、学校保健安全法によって学校は 5 日間の出席停止となります。一方大人は自宅療養の義務はありませんが、周囲に感染させる恐れがありますので、できるだけ人と接触するのを避けましょう。



発熱外来は引き続き開いていますので、発熱のある方は今まで通りお電話でご相談ください。患者さんの中には高齢者や疾患を持っていて、コロナに罹患すると重症化するリスクのある方がおられます。ご協力をお願いいたします。

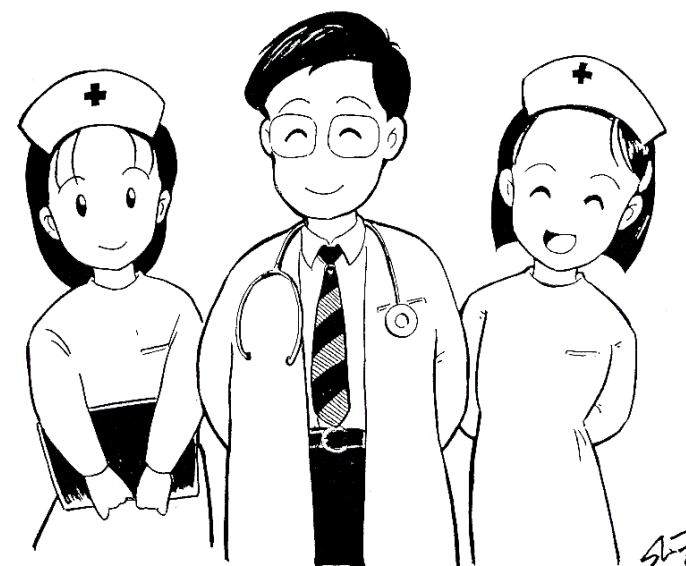
コロナワクチン接種 6 回目が始まっています。ご希望の方は受付でご予約ください。



チューリップのコンサートに行ってきました。結成 50 周年ということで、来場者は 60~70 歳代の方を多くみかけました。「同じ時代に青春を過ごしてきた仲間」というような不思議な連帯感を感じられるひと時でした。70 歳代でもみなさんノリノリ！すごいパワーでした。

すこやか通信

'23 5-6号 Vol.154



児島医院

内科・循環器内科・小児科・皮膚科・泌尿器科

神戸市東灘区深江北町 2-8-26

☎078-431-0696

診察室こぼれ話

子宮頸がんは、子宮の入り口にできるがんで、主にウイルスが原因であることが分かっています。そのがんのほとんどはヒトパピローマウイルス（HPV）感染によるもので、主に性交渉によって感染し、女性の子宮頸がんだけでなく、男性にもかかる病気の原因になります。

子宮頸がんの初期の症状はほとんど自覚症状がありません。生理以外の出血（不正性器出血）、性行為の際の出血などがありますが、自覚症状がでたときにはすでに進行していたということもあります。

国内において子宮頸がんで亡くなる人は、年間 2,900 人ほどと報告されています。年代別の死亡率は、30 代前半から年代が上がるにつれ高くなっていく傾向にあります。日本では、25～40 歳の女性のがんによる死亡の第 2 位は、子宮頸がんによるものです。

（出典：国立がん研究センター がん情報サービス 人口 10 万対年齢階級別死亡率、2021 年）

子宮頸がんの予防方法は、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染予防のために HPV ワクチンを接種することです。HPV ワクチンの接種は性行為を始めるよりも前にしたほうがより効果が高いとされています。

小学校 6 年～高校 1 年相当の女子は、予防接種法に基づく定期接種として、公費により HPV ワクチンを接種することができます。

現在、公費で受けられる HPV ワクチンは、2 価ワクチンのサーバリックス、4 価ワクチンのガーダシル、9 価ワクチンのシルガード 9 の 3 種類があります。一定の間隔をあけて、同じ種類のワクチンを合計 2 回または 3 回接種します。接種するワクチンや年齢によって、接種のタイミングや回数が異なります。どのワクチンを接種するかは、お気軽に相談してください。

また、平成 9 年度生まれ～平成 18 年度生まれ（誕生日が 1997 年 4 月 2 日～2007 年 4 月 1 日）の女性の中で、定期接種の対象年齢（小学校 6 年～高校 1 年相当）の間に接種を逃した方には、あらためて公費での接種の機会を提供しています。



また予防接種と並行して子宮頸がん検診を定期的に受けることで、がんになる過程の異常（異形成）やごく早期のがんを発見し、医師と相談しながら、経過観察したり、負担の少ない治療につなげることができます。20 歳以上の女性は、2 年に 1 回の頻度で子宮頸がん検診を受けましょう。

（厚生労働省のホームページを参照）